

議会のトピラ

TOPICS

議会報告会を開催

バラ議会を開催

常任委員会の報告

特別委員会の活動報告

ここが聞きたい 12人が一般質問

議長交際費・政務活動費の公表



バラ議会
親しみある
議会を目指して



「議員と語るう」

議会報告会を開催

5月11・12・13日に4カ所の地区センターで「議員と語るう」議会報告会を開催しました。議会報告会は、議会の活動を知っていただき、意見交換を通じていただいた意見をこれからの議会活動や政策提案に活かすことを目的としています。



土田地区センター会場

議員が議会広報紙「議会のトビラ」を使って、3月議会での平成31年度予算審査や常任委員会での審議内容を説明した後、「災害への備え」をテーマに意見交換を行いました。

4カ所で合計75名の方に参加いただき、たくさんのお声を聞かすことができました。いただいたご意見と、それに対する回答をいくつか掲載します。



兼山地区センター会場

災害への備えについて

意見 防災行政無線の火災放送が中止となった。代替策を含め、今後の情報伝達計画が必要。

回答 「すぐメールかに」、FMから等様々な伝達手段があるのを利用してほしい。

意見 市は「すぐメールかに」を推進しているが、高齢者への情報伝達手段は検討したほうが良い。

回答 継続して検討していく。

その他いただいたご意見

意見 どの地域でも自治会加入率の低下が課題。

回答 自治会組織は地域共生の要であり、未加入の方々には理解をお願いしていく。

意見 老木化して折れやすくなった街路樹を今後どうしていくのか。

回答 災害時の危険性や景観の観点から検討していかなければならない。

各地域での防災訓練の内容や、家庭での備えの大切さなど、グループ内での情報交換もできました。

参加してくださった皆さん、ありがとうございました。

いただいたご意見をまとめた「議会報告会実施報告書」は、[可児市議会のホームページ](#)で見ることができます。



第2回定例会 バラ議会を開催

令和元年(2019年)第2回可児市議会定例会を5月28日から6月20日までの24日間の会期で開き、令和元年度一般会計補正予算など17件を審議しました。



可児市議会では、春のバラが一番盛りを迎える6月定例会を『バラ議会』と称し、バラのまち可児を広くアピールしています。今年も議場にバラの花を飾りました。

また、開会前にクラリネットアンサンブルの演奏会を開催しました。来場された市民の方とともに、バラの香り漂う中での演奏会を楽しみました。

提出された議案と審議結果



第2回定例会に提出された議案は、承認5件、予算2件、条例9件、委員会発案1件で、すべて原案のとおり承認・可決されました。

番号	件名	結果
承認	1 平成30年度一般会計補正予算(第7号)	◎
	2 税条例等の一部改正の専決処分	◎
	3 都市計画税条例の一部改正の専決処分	◎
	4 国民健康保険税条例の一部改正の専決処分	◎
	5 介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正の専決処分	◎
議案	30 令和元年度一般会計補正予算(第1号)	◎
	31 令和元年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	◎
	32 基金条例の一部改正	◎
	33 税条例の一部改正	◎

番号	件名	結果
議案	34 消費税の税率の改定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	◎
	35 手数料徴収条例の一部改正	◎
	36 福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	◎
	37 老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正	○
	38 市営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正	◎
	39 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	◎
	40 非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	◎
発委	4 議会会議規則の一部改正	◎

【結果の表示記号】
◎全会一致で承認・可決 ○賛成多数で可決

議案の詳しい内容については、議会ホームページで確認いただくか、議会事務局窓口で閲覧することができます。

第2回定例会の賛否一覧 ※これ以外の案件は、全会一致で可決しています。

	大平 伸二	田原 理香	高木 将延	渡辺 仁美	出口 忠雄	伊藤 博壽	板津 博之	勝野 正規	天羽 良明	澤野 伸	酒井 正司	川上 文浩	野呂 和久	川合 敏己	山田 喜弘	山根 一男	中村 悟	伊藤 健二	富田 牧子	亀谷 光	可児 慶志	林 則夫	
議案第37号 老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 ※議長(澤野伸)は採決に加わらない。

常任委員会報告

第2回定例会の議案審査等の概要です。

予算決算委員会

令和元年度補正予算2件、条例の一部改正1件について審査しました。

一般会計補正予算

Q 公立保育園、公立幼稚園及び公立小中学校の給食業務における債務負担行為(※)の積算根拠は。

A 5年間の委託事業で、公立保育園については、調理員の人員費、業務で使用する消耗品等の需用費、申請手数料等の役務費、受託者の業務管理費を園ごとに積算し合算した。公立幼稚園についても同様である。

公立小中学校については、学校給食センターの調理機器及び

館内施設の保守に係る維持管理費、外壁や給排水等の修理補修費、50人の雇用を想定した調理員人件費、食器や副食の運搬費、各学校での給食配膳業務にかかる費用の合算である。

Q 学校給食センターの運営経費を年額3億9千万円としているが、平成29年度における給食業務に係る費用は、保育園を含め3億5千万円であった。どのように積算したのか。

A 平成31年度の学校給食センターに係る予算総額、3億9317万3千円に比べ、今回の見積額は317万3千円の減額となっている。調理業務等に係る部分での人件費や光熱水費で360万円ほどの増額となっている一方で、施設の維持管理、

補修に係る経費で670万円ほどの減額となっている。

Q 中学校校舎等賃借料の債務負担行為については、10年で総額2億5千万円とのことだが、この金額で、きちんとした学校環境の整備ができるのか。

A 賃貸借の見積もりや校舎を建設した場合の見積もりに基づいている。構造上も既存校舎と比べて遜色のない建物であり、エアコン等の施設整備に関しても問題なく対応できると考えている。

※債務負担行為とは・・・予算は単年度で完結するのが原則だが、あらかじめ翌年度(以降)の債務を約束することを予算で定めておくこと。

森林環境基金を設置

Q 目的に森林整備及びその促進を図るとあるが、具体的には何か。

A 今年度スタートした森林経営管理制度は、手つかずとなっ

ている人工林を整備する制度で、改正条例の基金で対応する。

建設市民委員会

駅前駐車場の利用料を決定

市営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について審査しました。

現在整備中の可児駅東の駅前駐車場は本年9月末に完成予定で、その料金は30分までが無料、30分を超える場合は30分ごとに100円となります。

Q マーノの利用者が駅前駐車場を利用することが想定されないか。

A 駅前駐車場は、駅または駅周辺での短時間利用者を対象としている。マーノとは別の料金設定であることをマーノ利用者に案内、周知していく。

教育福祉委員会

10月から福祉センターの利 用料金を変更

福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について審査しました。

Q 空調料金も含んだ利用料金となるが、空調を使用しない場合に、割高にならないか。

A 今回の改定により全体的に利用料金が下がるので、割高感はないと考える。

総務企画委員会

明智城址及び周辺地域を視察

6月17日、観光交流課及び文化財課職員の説明を受けながら、明智城址とその周辺地域の現地視察を行いました。

今秋本市で開催される「全国山城サミット」や来年の大河ドラマ放映により観光客の増加が

期待されるため、その受け入れ態勢について確認するものです。

当日は、花フェスタ記念公園を徒歩で出発し、産湯の井戸跡、六親眷属幽魂塔等を回った後、大手門から明智城本丸跡へ登城、帰りは羽生ヶ丘団地内を抜けて戻りました。

明智城址周辺は地元住民の方の生活道路であるため、交通面、防犯面の十分な対策が必要であることを確認しました。また、城址については有効に観光スポットとして活用できるように、周回コース検討の必要性を感じました。

観光事業推進に対して、議会としても多様な意見を提案し、積極的に参加していきます。



明智城址にて

特別委員会の活動報告

2つの特別委員会の1年間の活動報告です。

議会改革特別委員会

平成30年8月4日に地域課題懇談会を開催し、市長、高校校長、高校生、各種団体、議員が参加し、地域の活性化について意見交換を行いました。

平成31年1月25日には子育て世代による意見交換会を開催し、子育て世代の方々、NPO法人、議員が参加し、子育て健康プラザ「マーノ」の利用について意見交換を行いました。2月5日には市長、高校生、議員が参加し、6回目の高校生議会を開催し、可児市の観光面でのPRや集客について意見交換を行いました。これらの事業と議会報告会について、事業評価を行いました。

議会広報特別委員会

議会広報紙「議会のトビラ」を第69号から72号まで発行しました。議会報告会では、「議会のトビラ」を使って、市議会での質疑や討論の様子を紹介しています。また、ケーブルテレビ用の広報番組やFMららでの議会報告会PR番組も制作しました。これまで、様々な方法による議会活動の広報に努めてきましたが、議会広報特別委員会は今期で終了します。来期からは議長を除く全員が参加する広報広聴協議会の「広報部会」が広報を担当し、形は変わっても、議会で審議されることを正確にわかりやすく皆さんにお伝えしていきます。

一般質問

一

12人が市政を問う

市の方針や市民の皆さんの生活に関わる大切な内容について議員が市に対して質問を行いました。

一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。ご不明な点は議員にお尋ねください。



下記二次元コードを読み取っていただくと議場での様子を映像にてご覧いただけます。



学校給食の伝統は守ってほしい



とみだ まきこ
富田 牧子

Q 来年3月末をもって、市学校給食センターのPFI事業が終了し、その後は、センターの運営、調理、配送など全般にわたる業務を民間業者に包括委託をする予定だ。

これまで学校給食では、安心で安全、そしておいしい給食を提供するとともに、小学校卒業時のバイキング給食や子供の郷土食を実施してきたが、今後も継続できるか。

A 食文化への理解や郷土食も重要であるので、今回のプロポーザルでも、そういった面での事業者の提案を期待。

公共施設振興公社の職員の処遇は

Q 学校給食調理業務は可児市公共施設振興公社が受託しているが、来年度、公社が調

理業務を受託できない場合は、現在雇用されている公社職員の処遇はどうなるのか。

A 仮に、公社が受託しない場合、公社が解雇する職員の再就職先のあると考える限り行っていくものと考えているが、公社は市が100%出資した会社なので、市も公社を支援していく。雇用の確保に向けてそういった支援をさせていただきます。



可児市学校給食センター

子育て施策で移住促進を



たかぎ まさひろ
高木 将延

Q 「子育て世代の安心づくりに」に係る施策をPRすることは、若い世代の移住定住につながるかと考えるが、本市が進める子育て施策とは何か。

A 重点課題を5つに整理し、取り組んでいる。①妊娠期からの切れ目のない仕組みづくり②こども応援センターぱあむの運営など発達に不安を抱える家庭への取り組み③ばら教室やふるさとに愛着を持つための事業など学びの流れにつながる取り組み④各種教育事業など学びを支える取り組み⑤児童センターやキッズクラブでの市民ボランティアとの連携など子育てを支える市民活動の推進を行っている。

移住につながる戦略は

Q 様々な子育て支援策を若

者の移住定住につなげていくための施策はあるか。

A 移住定住の推進には子育て支援だけではなく、働く場や住まい、教育、文化、自然、交通環境など様々な要素が必要となる。各種媒体を使い、子育て支援を含めた住みやすさを感じられる取り組みを今後も継続して情報発信していく。



開館して1年の子育て健康プラザ「マールノ」

真に役立つ高齢者孤立防止事業に



たはら りか
田原 理香

Q この事業は70才以上の方を対象とし、高齢者の孤立感を減らし、安心して暮らせることを目的としているが、高齢者はまず何を望んでいると考えるか。

A この事業は、高齢者が望んでいることを解決するため、この事業ではなく、年に一度、直接お会いして、市や社会とのつながりを持ってもらうことで、高齢者の安気を支えることを目的としている。

地域で支援体制を作っていくには

Q 福祉現場の方が集まる安心づくりサポート委員会で地域の支援体制づくりを確実に具体的に進めていくことについて、また、支援体制に必要なボランティアに手が拳がら

ない現状について、どう考えるか。

A 地域支援体制は、10年とか20年という長いスパンをかけた醸成していくことが必要ではないかと考える。志のある方を集めるのは難しいが、団塊世代の方などが活躍できる場所をつくるなど新しい方が入る仕組みづくりに取り組んでいく必要があると考える。



安心づくりサポート委員会の様子

自動着信拒否装置で 特殊詐欺防止



やまだ よしひろ
山田 喜弘

Q 東京都目黒区では自動着信拒否装置や自動録音機を無償貸与し、特殊詐欺への対策を行っている。本市も取り組んでいるかどうか。

A 本市は、可児警察署、可児地区防犯協会、地域安全指導員、防犯ボランティア等多くの人の協力と連携で継続した取り組みを行っている。人と人とのつながりの中で、見守りの仕組みの充実により特殊詐欺被害防止を図っている。自動着信拒否装置や自動録音機の無料貸し出しは考えていない。

空き家解体後の固定資産税 減免を

Q 本市の平成30年度空き家件数は991件で、その7割が旧耐震基準の家屋である。

解体促進策として、家屋解体後の固定資産税を5年間減免してはどうか。

A 空き家問題は全国的な問題である。一市町村で対応すべきではなく、国が統一的かつ有効な対策を講ずるべきである。国に対し有効な法律制度及び対策の構築を提言していきたいと考えている。

特殊詐欺の被害状況 (単位：万円)

年	区分	オレオレ	架空請求	融資保証	還付金	その他	合計
平成28年	認知件数	2	3	1	2	0	8
	被害金額	610	723	11	249	0	1,593
平成29年	認知件数	1	9	0	0	1	11
	被害金額	0	4,057	0	0	550	4,607
平成30年	認知件数	0	0	0	0	1	1
	被害金額	0	0	0	0	153	153

(可児警察署より)

可児地区の過去3年間の特殊詐欺被害

桔梗の花を咲かせましょう



あもう よしあき
天羽 良明

Q 明智光秀の生誕地可児をPRするため、花いっぱい運動の花に桔梗(ききょう)を加える考えはないか。

A マリーゴールドやビオラなどは、大量に供給が可能であり、花期も長く、栽培も容易である。桔梗は多年草であるので、冬には必要に応じて株分けをするなど、負担増加が想定される。育て方についても専門家を交えた検討が必要である。花いっぱい運動推進委員会に、桔梗を植えることについての提案があったことを報告する。

終活支援の現状は

Q エンディングについてどのような相談があり、どう対応しているか。

A 墓じまい、相続、遺言、



有志で明智城址公園に桔梗の苗を植栽

延命処置についての具体的なことは、相談の聞き取りの中で確認をする。内容により、弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉協議会などへ相談するよう情報を提供している。現在、可児市版のエンディングノートを作成中で、7月頃には、民生児童委員や各地域包括支援センター等を通じて、見守り対象の高齢者、老人クラブやサロン参加者等に配布する予定である。

教育現場でのICT化の状況は



かわかみ ふみひろ
川上 文浩

Q 昨年第4回定例会において教育長は、ICT環境について他都市等の情報を得ながら研究し、進んでいくと発言したが、小・中学校のICT環境について、どのように考えているのか。

A 他都市のICT環境について視察などを行い、情報収集を行ってきた。大型モニターやプロジェクトなどを活用し、視覚的に資料等を示すことで、児童・生徒の意欲や理解度なども高まること、また教材の作成等にかかわる教員の負担軽減につながることを改めて認識した。

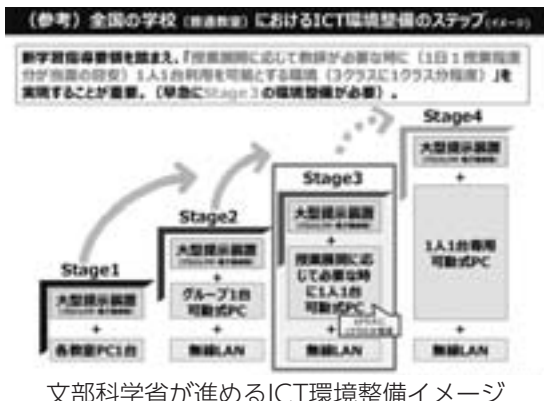
Q プログラミング教育の体制作りは。

A 本年度、各校のICT担当者を全員を対象にしてプログラミング教育講座を実施する。

ICT環境の整備を

Q 教室への大型モニターなどの設置は。

A 学校におけるICT環境の整備は大きな課題であると捉え、特に大型モニターやプロジェクトの設置については喫緊の課題であると考えており、最優先事項として位置づけられるよう努力する。



空き缶等のポイ捨て対策を



のろ かずひさ
野呂 和久

Q 本市は平成11年10月にポイ捨て及びふん害の防止条例を施行した。条例には本市がポイ捨てによる空き缶等の散乱やふん害の防止に必要な施策を策定し実施するとある。取り組み状況は。

A 環境美化活動の取り組みとして、ボランティア清掃活動、環境美化推進指導員制度、ポイ捨て等禁止看板の支給、ロードサポーターなどがある。平成30年度のボランティア清掃活動では61件、延べ2010人が参加し、約1.8トンのごみ収集があった。

ロードサポーターへの登録促進策

Q 近年、ロードサポーターの登録団体数がほぼ横ばいの状況にあり伸び悩んでいる。

活動団体を広げていく対策は。

A 今後の方針として、広報紙などによるPRを引き続き行うなど、地道な対応で活動団体を広げていきたいと考える。これまでも活動しやすい環境づくりのため、登録団体と課題など意見を聞く機会を設け、助成制度の見直しも行ってきたところである。



ポイ捨てされた空き缶を回収

幹線道路の整備をどう進めるのか



伊藤 稔
いとう しげお

Q 市道田白・桜ヶ丘線及び県道多治見・八百津線などの主要道の整備はどのような考えで進めているのか。

A 道路の整備は、交通事故防止対策や歩行者の安全確保、渋滞の緩和、産業立地や交流人口の拡大、費用対効果や実現性などを総合的に判断して行う。市道田白・桜ヶ丘線は片側歩道で小中高生の通学路であり、二野・大森線の整備が進むと新たな交通需要も想定されるため整備を進めたい。

久々利柿下地内の県道については、ルートの絞り込みも進み、市として事業推進に向け地域と県の間に入って調整や要望を行う。

市民生活の安全をどう守る

Q 市の南東部では大規模な

開発が多数行われているが、豪雨時の土砂等流出への対策や、工事車両増加に伴う通学路の安全対策は。また、豪雨に備え久々利川の整備は。

A 開発については、県と協力して異常気象時などの対応は随時指導していく。また、交通安全について損なわれる恐れがあれば適切な対応を求めていく。久々利川は、令和5年度を目標に整備される予定である。



整備が進む二野・大森線（市道56号線）

歩行者等に対する安全対策は



山根 一男
やまね かずお

Q 全国各地で歩行者や自転車など、交通弱者を巻き込んだ悲惨な事故が絶えない。悲惨な事故を防ぐために、通学路の安全確保等どのような方針を取っているか。

A 市は可児警察署や関係団体と連携しながら様々な取り組みを実施している。通学路については、学校・PTAの要望も聞きながら通学路交通安全プログラムに従い対応している。抜け道通行の抑制等を目的として、特定の地区内の最高速度を30kmに規制する『ゾーン30』という制度があり、市内では桂ヶ丘と下恵土地区の一部で実施されているが、要望があれば担当課にて制度の説明をする。

ふるさと納税、これまでの経緯は

Q ふるさと納税に関して、本市は税優遇の指定期間が4カ月に限定された全国43自治体に含まれているが、どういう経緯か。

A 昨年11月以降も地場産品以外の返礼品を提供していたことが要因だと想定されるが、本市の場合、事業者との契約等の関係でやむを得ない措置であった。本年1月以降は、国の意向に沿った対応を行っている。



下恵土の一部で実施されているゾーン30

リニア工事の汚染土対策は十分か



伊藤 健二 (いとう けんじ)

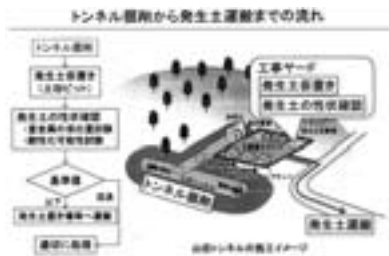
Q リニア新幹線工事問題の今の中心点は何か。来年度からの本坑掘削工事を前に、排出残土置き場等計画の詳細は、依然不明だ。汚染土の仮置き場をため池近くに仮設する考えと聞くが、黄鉄鉱含有土壌による重金属等汚染や酸性水問題を繰り返し返さないための対策はどうか。

A 大森財産区所有の可見市残土処分場跡地にJR東海が要対策土の仮置き場建設の打診があった。JRは十分な遮水対策を行うと説明している。今後、要対策土の処理及び保管方法について、仮置き場の対応を含めて、JR環境保全計画の策定協議の中で県と連携し、十分な調整を図る。

店舗等のリニューアル助成を

Q 地元商工業者が行う店舗事務所等の新装や改築を推進して商工業を支援する市の助成制度を提案する。県内には川辺町の事例があるが、本市の見解は。

A 事業者への運転資金、簡易な設備投資に対し市小口融資制度もあり、県下で一番低い利率で利用できる。また、本市の保証料補給制度は、保証料の全額補助を行っているので既存制度の活用でお願いしたい。



リニア工事ヤードの説明図(イメージ)

街路樹とまちづくり



渡辺 ひとみ (わたなべ ひとみ)

Q 昨年度、桜ヶ丘ハイツ全体の街路樹の健康状態調査が行われたが、その結果は。

A 全体的に枯損、腐食があり、数年以内に伐採が必要なもの、街路樹全体の約9.7%、326本と判断された。

Q 今後は地域での協議とともに、災害対策や道路事情、街並みや団地の景観などを考慮した上での市としてのビジョンを示していく必要があると考えるがどうか。

A 潤いという観点から、道路空間がしっかり確保されているところであれば、この地域の気候に合った比較的コンパクトで管理も容易なものの植栽を、必要に応じて続けていくことになるかと考える。

ドラマ館周辺の観光ルートの活用

Q 屋台グルメ、茶席等観光ルート周辺での設置は可能か。

A 屋台グルメについては花フェスタ記念公園内のグルメブースを、茶席については茶室「織部庵」を利用いただくよう誘導する。ボランティアによるおもてなし活動の動きが出ていることも承知しており、メインルート付近で観光客に楽しんでもらうような企画・提案が出てくれば、必要な調整を行っていく。



明智光秀産湯の井戸跡周辺(瀬田)

明智光秀の顕彰と交通対策



かに けいし 慶志 見

Q 光秀の功績を再評価し、銅像等シンボルの製作などで観光資源の強化が必要と考えるが市の展開策は。

A 光秀の史料は非常に少ないため、民間の団体や個人の方々が研究し物語を作られ、広く知れわたっていくことを期待する。また、ドラマ館に併設する光秀ゾーンには、明智光秀の実像に迫るテーマで、歴史考証を経た親子愛・夫婦愛・師弟愛などを展示する。

光秀像の建設については、ふるさと納税制度もあるので、具体化してきたら実現に向けて動きたい。大河ドラマを契機に観光交流人口の増加を進めていく。

ドラマ館や城址への交通対策は

Q 交通渋滞を緩和するため



亀岡市の明智光秀像(ふるさと納税で建設)

の通行規制や明智駅からの案内看板等の設置を。

A 花フェスタ記念公園や明智城址周辺地域の交通対策は非常に難しい課題なので、可児警察署と協議をしており、引き続き真剣に取り組む。

案内看板は、県内の関連市町で共通デザインを作ることになったので、誘導看板を含めてできるだけ早く進めて行く。

目 議 会 レ ポ ー ト

このコーナーでは、議会の様々な出来事を、写真で報告していきます。

▼教育委員との懇談会

(4月22日)

教育福祉委員会は、教育委員との懇談会を行い、昨年度公立小中学校が二学期制に移行したことの検証と、電子黒板やデジタル教科書の有効性などについて意見交換を行いました。



▼永年勤続表彰

(6月20日)

川上文浩議員が、議長、副議長を4年以上務めたことにより、全国市議会議長会及び東海市議会議長会から表彰を受けました。



議長交際費と政務活動費

平成30年度議長交際費を公表

議長交際費とは、議長が議会を代表し対外的な活動をするために、予算の範囲内で支出する経費です。

なお、議長公務の内容は、ホームページやフェイスブック等で公開しています。

区分	件数(件)	支出額(円)
慶 祝	0	0
見 舞	0	0
弔 慰	6	30,000
会 費	23	174,500
協賛・賛助	0	0
そ の 他	0	0
計	29	204,500

平成30年度政務活動費の使い道を公表

政務活動費とは、議員の調査研究に役立てるために必要な経費の一部として交付されるもので、本市議会議員には一人当たり年額24万円が各会派または会派に属さない議員へ交付されます。各会派等は、毎年、収支報告書に領収書を添付し議長に報告しています。また、残額は市に返還しています。

なお、領収書などは、議会ホームページで公開しているほか、議会事務局で閲覧することができます。

会派名等	人数(人)	交付額(円)	支出額合計(円)	残額(円)
会 派 き ず な	6	694,030	689,544	4,486
真 政 会	4	960,000	185,829	774,171
可 見 未 来 (誠 颯 会 より 名 称 変 更)	3	1,590,299	1,547,886	42,413
自 由 民 主 ク ラ ブ	2	480,000	115,997	364,003
日 本 共 産 党 可 見 市 議 団	2	480,000	469,534	10,466
可 見 市 議 会 公 明 党	2	480,000	127,278	352,722
市 民 の 声	2	480,000	480,561	0
会 派 に 属 さ ない 議 員	1	115,671	115,345	326
計	22	5,280,000	3,731,974	1,548,587

会派名等	支出額	支出内訳				
		調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	事務所費
会 派 き ず な	689,544	267,730	109,290	92,660	24,678	195,186
真 政 会	185,829	101,709	46,600	0	0	37,520
可 見 未 来	1,547,886	492,333	867,804	46,744	23,760	117,245
自 由 民 主 ク ラ ブ	115,997	103,702	0	7,495	4,800	0
日 本 共 産 党 可 見 市 議 団	469,534	49,407	199,272	1,430	80,570	138,855
可 見 市 議 会 公 明 党	127,278	0	34,412	16,973	49,032	26,861
市 民 の 声	480,561	96,722	364,750	0	5,514	13,575
会 派 に 属 さ ない 議 員	115,345	0	5,432	25,301	0	84,612
計	3,731,974	1,111,603	1,627,560	190,603	188,354	613,854

※年度途中で会派構成の異動があったため、交付額に端数が生じています。

※可見未来は、7月18日まで誠颯会（構成員10名）だったため、それまでの期間は10名分で交付されています。

※支出額の合計が交付額を上回る場合、不足額は各会派等が負担します。



第4回定例会のお知らせ

8月	
21日	開会日（議案説明）
21日	予算決算委員会
22日	
9月	
4日	一般質問・議案質疑
5日	
9日	予算決算委員会
10日	
11日	総務企画委員会
12日	建設市民委員会
13日	教育福祉委員会
18日	予算決算委員会
30日	閉会日（委員長報告・討論・採決）

会議は午前9時開会の予定です。
（閉会日は午後1時開会予定です）
日程は、都合により変更となる場合もあります。

地域のかがやき 地域の笑顔

土田／白髭神社流鏝馬まつり



凛々しい女性騎手

中恵土／ふれあい農園



おいしいジャガイモたくさんとれたよ

チョット おじゃまします

※今回は、よさこい鳴子踊りの「ZAC」さんに富田委員と山田委員がおじゃまして、代表の中嶋さんにお話を伺いました。

広報委員：ZACの名前の由来は何でしょうか。メンバーは女性だけですか。

中嶋さん：“ぞっくばらん”から付けました。男性は2名であとは女性です。

広報委員：踊るためには、曲、振り付け、衣装が重要ですが、どなたが考えられるのですか。

中嶋さん：作曲は依頼をして、オリジナル曲を使っています。振り付けは、代表の私を考えます。

広報委員：振り付けで心掛けていることは何でしょうか。

中嶋さん：メンバーも高齢になり振り付けも限られてきますが、できる範囲で新しい振り付けを考えています。

広報委員：今日の衣装は素敵でしたが、こだわりはありますか。

中嶋さん：見た目はシニアですが、心は永遠の乙女らしい衣装を心がけています。

広報委員：ZACさんは2004年から可見市観光大使として活躍されています。今の目標は何でしょうか。

中嶋さん：可見市オリジナルソング「麒麟児 みつひでクン」の振り付けを通じて、可見市が明智光秀生誕の地であることを盛り上げていきたいです。

取材を終えて

見た目「カワイイ」本当に素敵な衣装でした。「若者に負けないものは年の数。年齢を重ねてみないとわからないこともある」との代表の言葉に大変感動しました。これからもずっと活躍していただきますよう願います。

